



2014～2015年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日／毎週火曜日 12：30 例会場／豊川商工会議所

会長／滝下 勲 幹事／伊藤正幸 会報委員会／河本圭史・大場 篤

事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：和の心と・地元へ奉仕を

本年度第28回 通算1374回 平成27年2月3日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	1/20 修正出席率
		59名	30名	57.7%	93.6%

ゲスト：(なし) ビジター：メーキャップ受付11名

合同節分例会





★会長あいさつ 滝下 勲会長

こんにちは。今回、節分例会を始めて合同例会にさせていただきました。互いに新入会員も入会していることですので、合同例会で交流できることは良いことだと思います。来年以降もぜひ続けて頂きたいと思っています。

倫理法人会の職場の教養の冊子の今日の節分の部分を紹介します。今日は節分です。季節の行事には、意味と由来があります。節分の由来をご存知ですか。節分とは、字の通り、季節の節目の意味です。元々は立春、立夏、立秋、立冬、それぞれの前日を節分としていました。その中でも特に立春の前日を指すようになった由来は、この節分を境に暦の上で冬から春になるからです。旧暦では、新年は春から始まるため、この節分の日が現在の大みそかと同じように考えられていたのです。

節分の際、鬼は外、福を内と豆を撒くのは、1年の災いを払うための厄落としの意味があります。年齢の数だけ、又は年齢より一つ多く豆を食べるのは、疾病や災いの厄落としの意味があると言われていています。最近では、恵方巻きを食べる習慣が広がって来ました。これは節分の日、その年の恵方に向って食べる太巻き寿司で、福を巻き込むという意味です。切らずに1本丸ごと食べるので、縁を切らないという意味も込められています。

行事は、その由来を知ること、行う時の味わいが一層増すものです。ちなみに、今年の恵方は西南西です。今晚、恵方に向って太巻きを食べて下さい。

★豊川RC会長あいさつ 内藤雄功会長

こんにちは。立春は旧暦ですと正月にあたります。豊川宝飯クラブの皆さんの中には、今年初めてお会いする方もあると思います。

明けましておめでとうございます。

節分例会を初めて合同例会にさせていただきます、これからも続けていければ良いと思います。

私も節分の話をして頂きます。先ほどの話の通り、立春、立夏、立秋、立冬、それぞれの前日を節分と言っていました。2月3日と2月4日は年が変わるということで、魔が入ることから、平安時代の宮中行事で、桃の弓と葦の矢で邪気を追い出したことが始まりです。その後に豆を撒く形になったそうです。

★幹事報告 伊藤正幸幹事

定例理事会開催について
次回例会開催について

★香取宮司様ごあいさつ



今日は、ロータリークラブの例会ということで砥鹿神社にお越し頂きましてありがとうございます。

古来より日本では宗教的な対立は歴史的になかったように思われます。日本には仏教の良さ、神道の良さがあります。日本人は、農耕民族だから穏やかだと言う見方がありますが、長い間に宗教の精神性を培ってきたので、それが影響して日本の民族性があるのではと思います。

仏教側から見ますと本覚論という教えがあります。「草木国土悉皆成仏」という、心のあるもののみならず心のないものまであらゆるものが成仏するという教えがあります。では神道側から見ますと、全てに神が宿ると言う教えです。仏教思想と神道思想は、深いところで繋がっていると思います。ですので、表面に出てきて相対することがなかったのではと思います。

役小角（えんのおづの）を御存じだと思います。陰陽師（おんみょうじ）とも言います。陰陽師の中で、最も大切にされたのが役小角が称えた式神があります。陰陽師は陰陽道をもとに、精霊を沈めたり、発動させたり、生命力を増やしたり方向へ持って行くのが、この陰陽師の腕です。この陰陽師も長い歴史の中で、一番有名なのが安倍晴明（あべのせいめい）です。実は明治維新の時に、陰陽寮が廃

止になりましたので、現在では陰陽師が身近にありませんが、そういう教えが「邪気退散」「万福招来」としてあります。式神には十二月将（じゅうにげっしょう）があり、1月から12月までの神様がきまっています。2月は河魁（かかい）、8月は天罡（てんこう）で式神では抜群に強い神様とされています。

今年1年、皆様方に家内安全、商売繁盛、事業所が益々ご繁栄しますように願いますと共に、皆様方の安全をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

★乾杯 波多野四郎パスト会長



大変僭越ながら、乾杯の音頭をとらせて頂きます。合同で節分例会をしますと、賑々しくて良いと思います。

両クラブの会長の挨拶で節分のお話が出ました。私は建設業と趣味の魚釣りをして1年を過ごしています。

節分に過ぎてから切った木材は、もう水を吸い上げておまして、いい節には使えません。良い木材を切るには、12月から節分の前日の2月2日までです。この間に切った木材は、千年もつと聞いています。良い木材を使う時には、必ずそういう木材を探します。

海の生き物は、この2月6日を過ぎるまでは、魚はお腹の中が空っぽです。6日前の魚に包丁を入れても、お腹の中には何もありません。その期日を1日か2日過ぎて釣った魚のお腹には必ず食べ物が入っています。

自然界の中で季節を分ける節分は、とても大事です。生きるという力になっていると思います。これから梅が咲き、桜が咲き、運気がどんどんと芽生えてきます。皆様方には健康には十分に留意して頂きまして、1年間過ぎて頂きたいと思います。乾杯



会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員

